



主催：数電機連携プログラム推進室

数理科学的発想と工学的発想を兼ね備えた
理工横断型人材育成をめざして

第20回

数電機キャリアパスセミナー

開催日： 2012年11月28日（水曜日）

開催時間： 16:30-18:00

（18:00-18:30 懇談会・討論会）

開催場所： 首都大学東京12号館106教室

講師： 野口直昭氏（株式会社日立製作所・日立研
究所・輸送システム研究部主任研究員）

講演題目： 「モデルベースの振動制御技術の産業応用」
（エレベータの乗り心地向上を目指した取り組み）

講演概要

自動車、鉄道、エレベータなどの乗り物では、姿勢制御、制振などの高度な制御技術の導入が進んでいる。これらの開発では、開発期間短縮のためにモデルベースの制御設計および評価が一般的となっている。今回、対象とするエレベータでは、高速になるにつれて、かごの走行を案内するローラガイド装置がレールの曲がりによる強制変位を受けて発生する横振動の影響が大きくなる。この振動をほとんど人間が感じないレベルにまで低減するため、アクティブローラガイドを適用した。本セミナーでは、実稼動データを活用したモデリングおよび H_∞ 制御理論の適用とその実装開発について幅広く紹介する。

主催：数電機連携プログラム推進室
（首都大学東京・理工学研究科、
数理情報科学専攻・電気電子工学専攻・機械工学専攻）
192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

問い合わせ先：数電機連携プログラム推進室

担当：小林訓史（内線4133）E-mail: koba@tmu.ac.jp